



金沢経済大学同窓会誌

きずな

第7号

1996.9.

発行所/金沢経済大学同窓会事務局

〒920 石川県金沢市御所町丑10

事務局 TEL(0762)51-9876(直通)

大学 TEL(0762)52-2236

発行責任者:中田邦雄 編集発行人:菅村洋一

同窓会会員 現在 9,913名

中国経済の発展と北陸の対応



東北アジア総合研究所所長、教授
金沢経済大学客員教授

唱新

八十年代に入ってから、中国経済は、経済革新と対外開放によって、目を見張る発展を遂げた。統計によると、一九八〇年から一九九五年にかけて十五年間において、中国経済は、一〇%の年平均伸び率で成長し、GNPが四倍増加した。このような高度経済成長は、中国の社会・経済に大きな変化をもたらした。

第一に対外貿易の大発展である。かかる十五年間において、中国の対外貿易は、二十%の年平均伸び率で増加し、一九九五年の中国輸出入総額が二、八〇〇億ドルに達し、世界貿易額の六・六%を占め、世界貿易全体において、第十一位となつて、世界貿易の拡大に大きく寄与している。

第二に外資導入の拡大である。

一九九五年末までに、中国に進出した「三資企業」の累計は、契約ベースで二十四万件、生産開始の「三資企業」が十万余社で、実際直接投資額が、一、一〇〇億ドルに達し、中国が米国に次ぎ、世界第二の直接投資受け入れ大国となつた。外国資本の導入は、中国における技術水準の向上、国際競争力の強化、輸出の拡大などを促進しただけではなく、外国の管理方法の導入によって、市場経済メカニズムの確立にも大きく寄与した。こうした外国資本は、中国の高度経済成長を支える原動力となつた。

第三に地域経済の大発展である。中国の経済成長の波は、対外開放の拡大によって、南から北へ、沿海地域から内陸地域へと急速に拡大している。目下、中国国内において、福建省、広東省を中心とする「華南経済圏」、上海を龍頭にし、揚子江沿岸地域を含む「揚子江流域経済圏」、大連を龍頭にし、大連―ハルビン鉄道沿線大都市を基幹としている「東北経済圏」などが形成された。その中で、「華南経済圏」は、中国の対外開放最前線として、東アジア経済発展のダイナミズムと結ぶことによつて、

アジア有数の工業地帯に成長し、一九九五年の輸出は、一、〇〇〇億ドルを超え、中国全体の八十%を占めていた。また、「揚子江経済圏」は、上海の浦東開発をきっかけに、世界最大の生産基地になつた。さらに「東北経済圏」は、外国の先進的技術で現在の企業を改造し、中国最大の重工業生産基地になることを目指している。

今年の三月に中国は、「第九次五ヶ年計画と二〇〇〇年長期展望」を發布し、二〇〇〇年向けの中国は、計画経済から市場経済へ粗放型成長から集約型成長へという二つの転換を柱に、農業生産の強化、国有企業改革の促進、科学技術・教育の振興、地域格差の解消、対外開放の拡大などを重点政策として、安定且つ健全な経済成長を目指している。二十一世紀において、巨大な消費市場を抱え、無限な潜在力を涵んでいる中国は、世界経済成長を支える巨大な舞台として、世界各国の経済発展に寄与するであろう。

北陸は、悠久な歴史、優れた文化、先進的技術、発達した産業がある故に、中国との経済交流の可能性が非常に大きい。特に環日本海国土軸が次期全線に組み込まれ

たが、それを中身のあるものにするために、距離が近い、経済補完関係が強い中国東北地区との友好交流が欠かせないものとなつている。その為に、東北地区と知的友好交流によって、相互理解を深め、相互信頼関係をこうちくすること、実際の直接投資と貿易を拡大することによって、経済一体化を促進することなどが期待されている。これは、中国の経済発展のためになるだけではなく、北陸三県における経済国際化の進展、国際物流拠点機能の強化、産業構造の高付加価値化などに寄与するであろう。

プロフィール

一九五六年九月二七日、中国長春市に生れる。吉林大学外国語学部日本語学科修了、同日本研究大学院日本経済研究科修士課程を修了。関西学院大学商学部客員研究員をへて、吉林大學東北アジア総合研究所所長・教授を兼務。

昨年十月一日、金沢経済大学の初めての客員教授として着任。専門は、国際経済で、当大学では、「国際経済論」「北陸経済論」を担当。



金沢経済大学同窓会

会長 中田 邦雄

きずなの心

きずなが発刊されてから、七号となりまして。ラッキーセブンです。この六年間の関係者の努力、きずなの心に感謝いたします。六年間はけっして短い時間ではありません。小学生が卒業を迎える年月ですし、五ヶ年計画に一年をプラスした年月なのですから。それなりの重さを感じます。これからの六年後を考えますと何かを成し遂げることの出来る時間だと思えます。

会員皆様にとって価値ある六年間になることを願っております。きずなの心を毎年発行していくことをお約束したいと思えます。会員の「情報・広場」として活用していただければ幸いです。ところで、同窓会が発足してか

ら25周年、会員は約10,000人となりました。大変喜ばしいことです。数はやはり力であると思えます。一〇、〇〇〇人の重みを感じております。

この秋、十一月十六日(土)には25周年を祝って盛大に懇親会を開催すべく計画を立てております。多数の会員とお世話になった恩師をはじめ、多くの方々にもご出席をお願いしたいと考えております。お世話になった人を大切にすることを失ってはいけないと思えます。

会員多数の出席を得て、同窓会のパワーを発揮したいと思えます。それだけ社会に貢献していることの証なのです。創刊号にも書きました「輪」は

サークル、ネットワークを意味し、同窓会会員の仲間意識の輪、「和」は仲良くする、互いに気が合う、あたたかい心など皆んなの和、「話」は話題です。情報時代と言いますが、会報によって大学と同窓会の情報を知って話題にしていただけだと思います。

この三つの「わ」を懇親会の場で燃やしたいと思えます。情熱が会場に満ち溢れることを願っております。

今さら継続は力なりと言うまでもありませんが、仕事も家庭もそして同窓会も継続こそが力だと思えます。継続の心には理念、信念、執念が必要だと思えます。大きな事業を為すための理念、ビジョンといえますか夢を持つことでしょ

う。その理念を実現するための信念が必要です。信念によって事業実現の苦勞は成功への糧になると思えます。それでもダメなら執念しかありません。執念は山をも動かすのです。あたりまえのことをあたりまえにする心といえると思えます。

会員皆様のご協力、ご支援をお願いすると共に、十一月十六日の25周年を記念する懇親会が盛会になり会員とお世話になった方々との情報交換と友情交換を楽しみにしております。会員皆様のご健勝、ご活躍を祈念してあいさついたします。



同窓会発足25周年記念パーティーへのお誘い

そう言えば、あいつはどうしているんだろうか、この機会に声を掛け合っ
て旧交を暖めてみるのも一興かもしれない。気軽に参加を決めてみようぜ。

と き 平成8(1996)年11月16日(土) 午後6時

と ころ 金沢東急ホテル5階 大宴会場

申込み方法 (1) 5,000円のパーティ券を同窓会役員より購入

(2) 同封の振込用紙で同窓会指定の口座へ振込



想いめぐらせば

金沢経済大学同窓会

副会長 菅村洋一

昭和47(一九七二)年三月、第二回生として学舎を後にした頃、おそらくは二度と学園とのかかわりなど無いと考えていた。真新しいが何の変哲もない直方体の灰色の学舎、休講のたびに一時限得をしたような思いで喫茶室からぬ喫茶室で油を売って、教官を見かけては議論を際限なく楽しんでいくうちに卒業となってしまったような気がする。それも、資本論と近代経済学との際限ない論争、哲学と人間論と科学と人生論などなど、鍋で具を混ぜ込んで理解力のないままの討論だったように思う。何故か卒業できたことの不思議が、今になって懐かしくさえ思えてくる。

行部の政治姿勢と社会的責任を追求する動きの中、また一、二回生を擁するだけの学園で、徐々にリベラルな学生が動き始め、それはまさに社会的な連鎖反応として広まった感があった。激化する学生運動家の連日の活動とマスコミの報道は、学生における政治活動の規制を生み出し、反社会的な行為としてのレッテルを運動家個々に課すこととなっていったようであった。

卒業年度、二回生を中心とした活動家の多くが沈黙し始め、黙して語らなくなる中、幾人かは学園を去り、また、多くは卒業を目指す学業にのみ専念し始めていたのであろう。手探りの政治活動と社会正義の運動としての位置づけは、個々人の自己批判で活動を一気に沈黙へと追いやっていった。

卒業式があったことは記憶に無い。当時懇意にしていた幾人かの教授に、単位の認定があった事を知らされて、喫茶室を後に学園を去ったように思う。そして、手にした卒業証書に経済学士と記されている事に、可笑しさを隠し切れなかった記憶がある。確か最後に提出したレポート(卒論)は、「夏目漱石とその時代」ではなかったか。明治の近代化の中で漱石先生の奇行の時代背景と学園での四年間をダブらせてみたように思える。まさに自身の翻弄された生活の自己批判をレポートして卒業をってしまった、いや、後年聞き及んだところによれば体よく追い出されてしまったとの説もある。

さて、二年、三年次は、学友会の副会長を経験し、学園の執行部の浄化?に努めていたが、当時の学友会会長が川向邦雄(現同窓会会長中田邦雄)氏である。ともにリベラリストでありながらその行く道は随分違って、意見の対立の続くことが多かったようだが、氏の感想は別にして、先輩としてまた友人としては気のおけない面でも協調しあっていたようである。そして、学園を後にしての再会がおそらく数年後の同窓会ではなかったか。当時は、同窓会とは言わず、卒業生の懇話会あるいは茶話会と銘打った集いで、気の合った仲間が同窓生として集う会だったと記憶している。故稱置理事長の、「みんな元気がよかったか」で始まる挨拶と「まあ、同窓会なんてものは、もっと年月が経たにゃ分らんわい」の一言が妙に印象に残っている。そして、めずらしそうに顔をじっと見つめて「元気にしているか、子供は何人になった」と声をかけていただいたことをふっと思い出す。



常任理事会だより

昨年度より引き続き、本年度が同窓会発足25周年にあたることで、会員名簿の発刊の継続的作業と記念パーティーの開催を旨としたの動員体制の確立及び、企画の内容が中心的議案として審議されました。

動員については、これまでの理事を中心とした活動にプラスして、各期より実行委員を選任、企業や職場単位、部活動で中心であった方々等をヒックアップした体制とし、記念パーティーには350名が臨むことが確認されています。10,000名に及ぶ同窓生の参加率の向上に向けた議論のほか、着々と実務が進行されている状況にあります。

また、25周年記念誌の発刊が予定され、同窓会のこれまでの諸活動を振り返るとともに、一区切りとしての記録を作成することに担当理事が奔走をしています。なにしてる記録があまりにも不足しているとの状況報告がなされていますが、同窓生各位のご協力をいかに集めるかがポイントになりそうです。さらに、同窓会のこれまでの

活動がどんなものだったのか、これからの活動がどうであればといった内容で、座談会が予定されているところですが。

常任理事会は、例年になく慌ただしく会合が連続しています。一つひとつの議案に適切に対応していくことを目指して、同窓生諸氏の大きな交流の場の実現をバックアップしようと活動を展開しているのです。25周年記念パーティーへ是非、一人でも多くの方々のご参加をお願いする次第です。それは、同窓生お一人おひとりの声を、事業活動につなげるよう、その結果する力を期待しているからに他なりません。



常任理事および理事を除く実行委員の方々(敬称略)

- 牛谷 信孝 (一部一回)
 - 小川 義昭 (一部一回)
 - 中出 利行 (一部一回)
 - 亀田 義裕 (一部一回)
 - 中島 茂 (一部一回)
 - 干潟 孝信 (一部一回)
 - 辻端 直人 (一部一回)
 - 水越 信幸 (一部一回)
 - 中村 博一 (一部一回)
 - 大田 易視 (一部一回)
 - 川崎 真人 (一部一回)
 - 西田 哲次 (一部一回)
 - 荒川 徳人 (一部一回)
 - 灰田 志朗 (一部一回)
 - 木村 道明 (一部一回)
 - 比良 則昭 (一部一回)
 - 石野 弘幸 (一部一回)
 - 西田 徹 (一部一回)
 - 瀬戸 和栄 (一部一回)
- 以上、十九名



きずな深まる同窓会

発足25周年記念

パーティーのご案内

日時・平成八年十一月十六日(土)

午後六時開宴

場所・金沢東急ホテル五階 大宴会場

参加費・5,000円

- ・25周年記念誌配布
- ・在学生「ウインドシンフォニックオーケストラ」による演奏
- ・情報交換、友情交換会
- ・お楽しみ抽選会 等等

- ①参加申込みは、各期理事又は、実行委員、同窓会事務局にてパーティー券を購入
- ②同封の振込用紙にて参加費を所定の金融機関に振り込む

*なお、当日会場受付にて同窓会名簿第四号を販売いたします。

金沢経済大学 卒業生の誇り



有宏建設株式会社
代表取締役社長

村上成行

（I部第九回生）

同窓生通信

私が卒業したのは昭和54年三月、第九回生にあたります。高校三年生の頃は就職難で、おかしな話ですが、おかげで私は金沢経済大学へ進学することになったのです。というのも、高校三年生のときの担任が就職を希望していた私に「就職よりも、大学の四年間でいろんなことを経験してみるのもいいのでは」とアドバイスをいいただき、それならとこの大学を選び入学しました。



大学には全国から大勢の人間が集まってくることから、いろいろな角度の考え方をもらった人に会い、刺激を受けました。会社の経営というものは、単に人に教えられるわけにはいきません。与えられた仕事内容が他社とあまり変

わらなくても、会社の考え方やカラーはそれぞれに違います。自社の経営理念を確立する事が経営者にとって大切なことだと思えます。たった一つの事でも、その見方にいろいろな角度や幅があることを気づかせてくれたことは在学中での大きな収穫でした。

井の中の蛙が、大海を少しだけのぞくことができたというところでしょうか。
こうして刺激を受けあった同窓生とも、今はほとんど会うこともありませんが、今年の十一月に開催される金沢経済大学同窓会発足25周年記念パーティーにはぜひ出席させていただき、各方面で活躍している旧友たちと会えることを楽しみにしております。

私ども有宏建設株式会社は、県市町村道などの一般道路の建設、舗装工事を中心とした土木事業務を行っております。臨時工や期間労働者ではなく、すべて従業員が工事にあたりますので、年間を通じて高い品質管理を保つことが

できることをモットーとしております。これからも住み良い町にふさわしい、快適な道路づくりに努めてまいります。



今後とも多くの優秀な人材育成と、金沢経済大学のさらなる発展をお祈りいたしております。

【会社概要】

所在地 石川県金沢市
資本金 一千万円
設立 昭和六十年
従業員 十五名



同窓会「きずな」JCBカードを持とう！

「きずな」JCBカードは、金沢経済大学卒業生であることの自覚と誇りに根ざした同窓会のパスポートです。カード社会の現代で、同じ持つなら「きずな」JCBカードは絶好の一枚。皆様がカードを利用してお買い物をしていただければ、使用手数料の一部が黙っていても同窓会に還元されて、これからの事業や活動に生かされます。JCBは、信頼と実績のある世界のカード、あなたに是非持って貰いたい1枚！
お申し込み、お問い合わせは、同窓会事務局まで。



金沢経済大学OBゴルフ同好会 第7回コンペ結果報告



成績表

RANK	NAME	OUT	IN	GROSS	H. CP	NET
優勝	鳥居 茂	50	49	99	29	70
2	小西 俊男	53	49	102	30	72
3	芝田 義則	42	41	83	10	73

【ゴルフ参加者募集!】

とき 十月二十七日(日)
 集合 午前十一時半
 午後十二時半スタート
 ところ 千里浜カントリー(セルフ)
 参加費 5,000円
 ※別途、プレー代は、13,000円位
 申込みは、同窓会事務局 ☎52・9876迄

ゴルフ同好会の第七回コンペが、去る五月十九日(日)快晴のなか白山カントリークラブの泉水コースにて開催されました。結果は、別表の通りです。ゴルフを通じての交流が、日頃のお付き合いを深める絶好のチャンスです。お気軽にご参加ください。

平成7年度同窓会決算書 平成7年4月1日～平成8年3月31日

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	7,030,660	事業費	1,602,063
終身会費	4,840,000	人件費	512,000
受取利息	611,977	通信費	1,178,487
雑収入	94,594	消耗費	123,307
		在校生補助	440,000
		慶弔費	280,000
		理事会会費	309,930
		学園懇談会費	49,172
		備品費	236,385
		同窓会館積立	592,263
		雑費	13,320
		次期繰越高	7,240,304
合計	12,577,231	合計	12,577,231

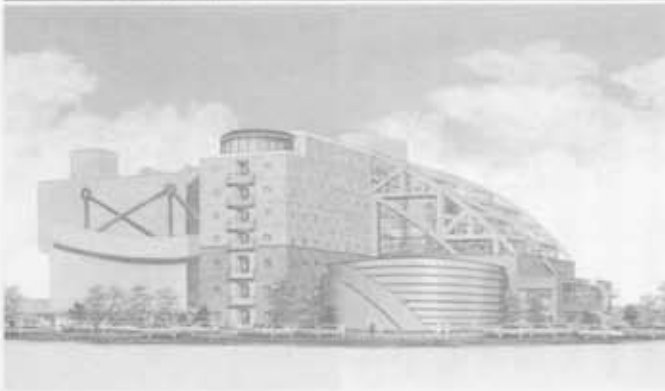
【特別会計 同窓会館積立金】……25,765,775円

同窓会会長年間職務日誌

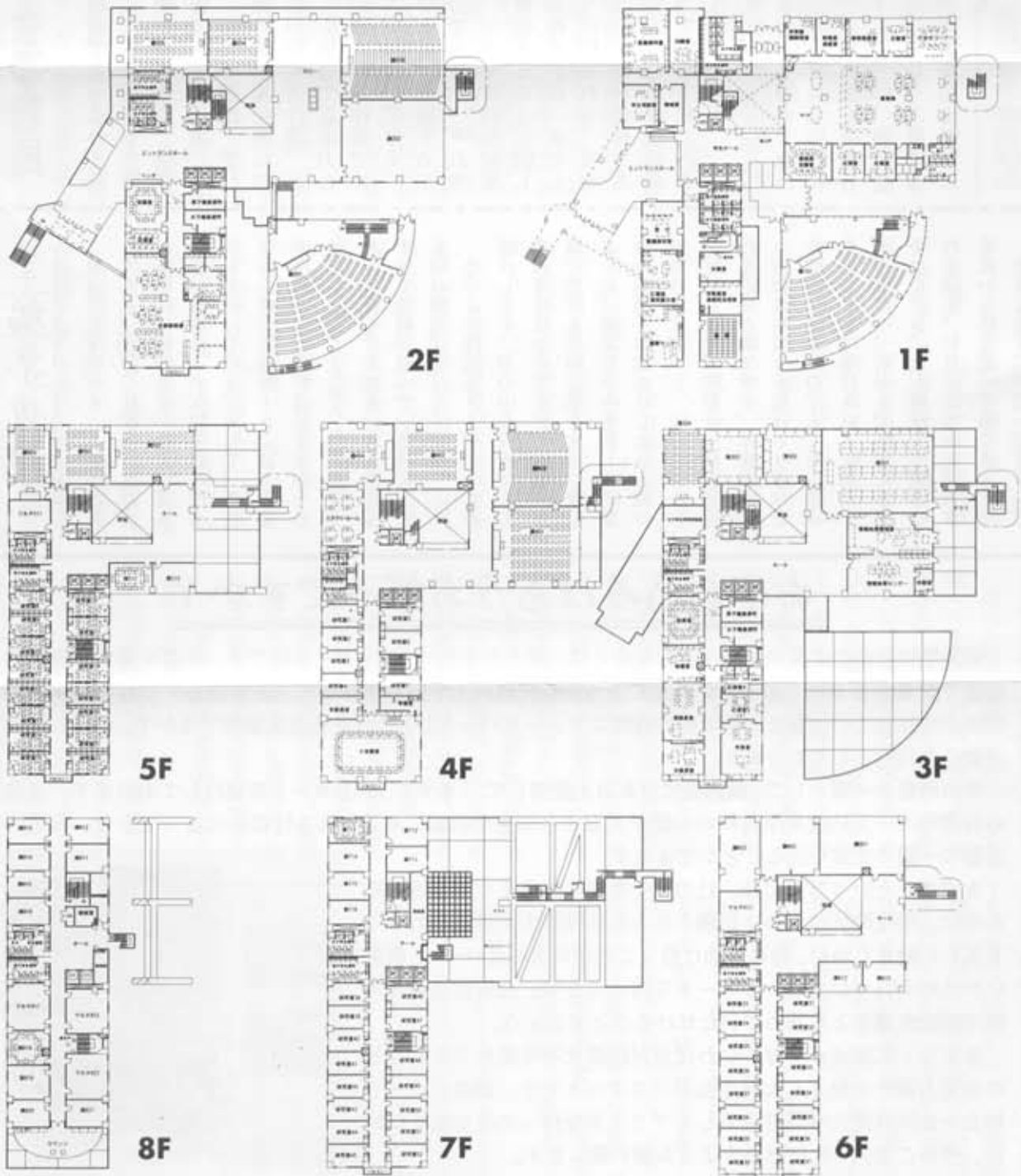
月日	行事名	場所
H7.4/15	役員と大学関係者との懇談会	金沢スカイホテル
5/13	金沢経済大学同窓会常任理事会	兼六荘
5/15	稲置学園評議員会	金沢経済大学会議室
5/27	理事長訪問	稲置学園
6/10	同窓会企画委員会	金経大同窓会事務局
6/17	理事長訪問	稲置学園
6/24	同窓会常任理事会	金沢スカイホテル
7/8	同窓会常任理事会・理事会	ホリデイ・イン金沢
9/23	同窓会常任理事会	金沢スカイホテル
9/30	同窓会総会	金沢経済大学講義室
	金沢経済大学経済学会講演会	稲置記念館講堂
11/5	金沢大学大学祭	金沢大学キャンパス
11/11	同窓会常任理事会	ホリデイ・イン金沢
11/21	大学学長・事務局長訪問	大学
12/16	稲置学園同窓会(大学・短大・高校)	金沢スカイホテル
H8.1/13	稲置学園同窓会(大学・短大)	金沢東急ホテル
1/27	同窓会常任理事会	ホリデイ・イン金沢
2/22	稲置学園評議員会	金沢経済大学会議室
3/2	同窓会正副会長会議	金沢東急ホテル
3/6	稲置学園評議員会	金沢経済大学会議室
3/9	金経大II部卒業記念パーティー	金沢全日空ホテル
3/14	金沢経済大学卒業式	稲置記念館講堂
	金経大卒業記念パーティー	金沢全日空ホテル
3/23	同窓会常任理事会	金沢スカイホテル

新学舎10月に竣工

新キャンパス構想を受けて、第一期工事がこの10月に完了し新学舎がお目見え！鉄筋コンクリート8階建て、延べ面積1万3千平方メートル。内部にはビデオプロジェクトなどAVシステムを完備した扇形講義室(270名収容)2室、一般講義室14室、情報演習室4室、演習室21室、多目的室、女子専用談話室、学生自習室、また、学園本部並びに大学事務局など総室数137室が設置される予定。



<新キャンパス平面図>





同窓会の皆様はじめまして、安江節子と申します。この度、藤沢様の後任で本年6月より同窓会事務局で仕事をさせて頂いていただくことになりました。

いろいろな面で不器用なので、行き届かないこともたくさんあると思いますが、お気付きの際は、ぜひご助言・ご指導のほどよろしくお願い致します。

また、本年は同窓会発足25周年とのことで、慣れないことばかりですが精一杯皆様のお手伝いをさせて頂いていただき、記念のいろいろな事業が成功裡に進行されるよう、私なりに努力をさせて頂いていただきますので重ねてよろしくお願いたします。



同窓会事務局

地味な職場でこつこつと事務処理をこなす。実務を主体とした作業が要求され、会議の日程のお知らせづくり、資料づくり、出欠の確認、受付作業、会議の結果報告書の作成と関係者への郵送作業。どれをとっても地道で忍耐力と持久力の要求される作業ですが、実に大切な仕事である。

意外にひとは、発言することには自由であるが、それをまとめ、一つの具体的な記事として文章化することに関しては得て不得手ははっきりしているように思われる。その一端を担うのが事務職員であり、実務のこなしかたが組織全体にとって要をなすことを意外に忘れがちである。

事務局を開設して7年目、事務職員を抱える事のできた頃の思い入れを忘れてはいけないうら。その機能を十分に発揮できるように、同窓会活動の活性化をしっかりと見守ることに、いま事務局は静かに燃えている。

編集後記

景気今だ浮揚せず、といった昨今である。経済の仕組みがまだまだ本格的に機能しないまま、落ち込むにも落ち込めない生活がだらだらと続いている。そして、春先の病原性大腸菌O157による食中毒騒ぎで、生鮮食品までがその存在を危なくさせられてしまった。人間の手が加わったものみなすべて危険が潜んでいる様に思える疑心暗鬼。

今号より体裁をA4判としてお届けします。世の中お役所に右え倣えではないのですが、内容の1層の充実を目指し判を大きく致しました。着実な歩みを期して同窓会の活動をお知らせしたいと願っております。

早いもので、同窓会も発足25周年を迎えた訳ですが、学園の学舎も衣替えを着々と進行させるほどの時間が経ったのだと、時の重みを感じます。挙行される記念パーティーには、新旧を問わずご参加をいただき、金沢経済大学同窓生の活躍を、お互いに大いに誇りさせたいものと願っております。

きずな第7号、ご一読下さい。

お申し込みはもうお済みですか？

経済学は社会の変遷や政治状況の変化と常に関わりを持つ「生きた」学問です。学窓を離れた後の実社会で試される学問であるといえましょう。金沢経済大学同窓会はその点を重視し、会員相互の情報交換や実社会での体験を大学の研究機関にフィードバックし、それをまた実業界で生かす、そういった活動を主目的としております。

その活動の一環として、同窓会ではJCBと提携して、「きずな」JCBカードを発行しております。会員の皆様のカードの使用手数料の一部がJCBより同窓会組織に還元される仕組みになっており、同窓会活動の一層の充実を図ることができます。

「きずな」という言葉には、社会での熾烈な競争をくぐり抜けるために、学生時代に互いに研鑽しあった仲間同士が実社会の中でも互いに励まし合い、時には助け合うことができれば……との思いが込められています。本カードを持つことで、会員相互の連帯感や親睦意識をより高めていただけることでしょう。

「きずな」JCBカードは、いわば金沢経済大学卒業生であることの自覚と誇りに根ざした同窓会のパスポートです。現在のカード社会を金沢経済大学同窓生らしくプライドを持って生き抜くために、ぜひご加入いただけますようお願い致します。

